

県とアクサ生命 包括連携協定

企業・団体の
健康経営推進

県とアクサ生命保険（東京）は13日、企業・団体の健康経営推進や持続可能な地域社会づくり推進の分野で包括連携協定を結んだ。同社は県

県と企業・団体との包括連携協定は37件目で、生命保険会社とは3社目。同社が包括連携協定を結ぶ都道府県は北海道に続いて2例目。今回の協定は、健康経営アドバイザー資格を持つ同社社員による事業所への健康経営導入支援や、県の健康イベントへの協力のほか、県の障がい者スポーツのイベントに同社の障がい者アスリート社員を派遣したり、減災・防災の知見を提供したりする内容。



包括連携協定の協定書を披露する阿部知事右と幸本副社長

県庁で阿部守一知事と同社の幸本智彦副社長が協定書に署名した。阿部知事は「健康長寿の県づくりをより充実させるには企業と一緒に取り組むことが重要になっており、ありがたい」と期待。幸本副社長は「光栄に思う。この誇りを胸に協定内容の実践にまい進する」と意気込みを述べた。

（前田智威）